

## 病気になったとき（介護について）

### 【私が認知症や寝たきりになったときの生活の場所】

- ☐ 自宅 ☐ 病状にあった病院や施設
- ☐ 病状に関わらず病院や施設 ☐ その他（ ）

### 【私が認知症や寝たきりになったときの介護をお願いしたい人】

- ☐ 家族にしてほしい（名前： ）
- ☐ 介護保険などのサービスを利用して家族にしてほしい
- ☐ 介護保険などのサービスを利用したい ☐ その他（ ）

### 【私が認知症や寝たきりで介護が必要になったときの介護費用】

- ☐ 私の預貯金や年金・保険でまかなってほしい
- ☐ 上記で不足するときは家族の援助でまかなってほしい
- ☐ 家族の判断に任せる
- ☐ その他（ ）

### 【私が認知症や寝たきりになったときの財産管理】

- ☐ 家族にしてほしい ☐ 後見人や任意後見人にしてほしい
- ☐ 社会福祉協議会のサービスを利用したい ☐ その他（下記の方）

お願いする人・団体の名前：

連絡先：

## 財産管理について

財産管理を任せると相続のときにもめごとが起こるケースがよくあります。家族の無用な争いを防ぐ方法として、専門家の後見人に管理を任せることも考えてみましょう。

寝たきりや認知症になる前に、予め自分の財産管理や医療・介護契約の手助けをしてくれる後見人（任意後見人）を選んでおき契約を結んでおくこともできます。

## 病名告知・治療の希望

命に関わる病気にかかってしまったとき、家族は迷いや葛藤の中で重い決断を下さなければなら  
ないでしょう。残された家族が悩まなくてもいいように、意思表示しておきましょう。

## 痛みや苦痛について

強い鎮痛剤(麻薬系鎮痛剤等)を使用することで痛みをやわらげることができます。しかし、副作  
用として意識がぼんやりしたり、呼吸抑制(呼吸がしづらくなる)が見られることがあります。

## 急変時の救急搬送について

急変時に救急搬送を要請した場合、基本的には蘇生処置(心臓マッサージ等)が救急隊によって行  
われます。救急要請を行わず自然な最期を迎えることを希望される場合は、自宅で看取ってくれ  
るかかりつけ医が必要になります。

## 心臓マッサージなどの心肺蘇生について

心肺蘇生とは、死が迫った状態で心臓マッサージ、気管内挿管、人工呼吸器の装着、昇圧剤(血  
圧を上げる薬)の投与などを行うことです。気管内挿管を行った後、医療スタッフが手動でバッ  
グから酸素を送り込みます。その後自身の呼吸(自発呼吸)が戻らなければ、人工呼吸器につなぐ  
ことになります。

## 延命のための人工呼吸器の装着とは

病状によって、人工呼吸器を装着してから亡くなるまでの期間は異なります(数時間～年単位)。  
現在の法律では、いったん人工呼吸器を装着すると、病状が好転し自発呼吸ができるようになる  
か亡くなるまで機械を外すことはできません。

## 鼻チューブや胃ろうによる栄養補給とは

鼻チューブとは、栄養剤を送るため鼻から胃まで通す細い管です。胃ろうと同じく、定期的な交  
換が必要ですが、胃ろうよりも簡単な処置です。胃ろうと比較すると患者さん自身が自分で管を  
抜く危険性が高いという欠点があります。

胃ろうとは、内視鏡(胃カメラ)を使いながらおなかの表面に小さな穴をあけ、そこに栄養補給の  
ための管をつなぐ器具を設置したものです。使用しないときは管を外してふたをします。定期的  
な交換が必要になります。